

Work & Life

目指すアシタのために、
仕事の中で学び、暮らしの中で発見する。
岐阜県では、職員のチャレンジしたい気持ちを応援しています。
ONの日もOFFの日も、自分の実現させたい明日のために、
様々な研修や休暇などの制度を活用できます。



岐阜県外で勤務することもあり
職員としてより成長できます

行政
秘書課
佐藤 主査
入庁 14 年目



仕事もプライベートも大切にできる
職場環境です

行政
検査監督課
水野 主任
入庁 9 年目



家庭もキャリアも。
バランスのとれた働きができています

土木
岐阜駅周辺鉄道高架工事事務所
坂東 主任技師
入庁 10 年目

—イマの仕事について

副知事秘書として、副知事の日程管理や資料の作成などの秘書業務や、知事記者会見の調整、SNSを活用した広報などの業務を担当しています。特にSNSでは、県の施策を分かりやすく発信するために、ショート動画を制作しています。動画を作ることは初めての経験で、どうすれば堅くなり過ぎずに、短い動画の中で県の施策を正確にみなさんへ伝えられるかということを常に考えながら業務をしています。

プライベートでは第2子が生まれ、4か月間の育児休業を取得しました。大変なこともたくさんありましたが、それ以上に子どもの「初めて」をたくさん見ることができ、長男と1日中遊ばまわったりと、家族と大切な時間を過ごすことができました。その経験から育児休業後は今まで以上に効率よく、メリハリをつけて、ショート動画と同じように、限られた時間の中でやりきることを意識しています。

—福島県派遣を通して得たもの

平成30年度に東日本大震災の被災地派遣で、福島県に送り出してもらい、配属先の福島県庁の市町村財政課では、ふるさと納税や市町村民税などの業務を担当しました。当時は、震災から7年が経過していましたが、復興道半ばという状況でした。そうした中で、使命感を持って仕事をする大切さや、異なる制度や文化に触れることによる柔軟な発想やスピード感のある対応力を学びました。

一緒に働いた福島県庁職員や市町村役場職員、私と同様に福島県に派遣されていた他県の職員とのネットワークは、今でも情報交換や協力の場で生きています。

福島県での仕事や出会いは、私の視野を広げ、前例にとらわれず柔軟な考えで仕事に向き合うことができる経験になりました。

—受験生へエール

岐阜県庁では、幅広い分野の仕事に携わることができます。これまでの土木、広報、総務など異分野の経験が自分の成長に繋がりました。所属ごとに職員との出会いがあり、人生の師とも出会うことができました。

皆さんと一緒に、岐阜県庁で働ける日を楽しみにしています。

配属歴	
H24 採用 可茂土木事務所	H30 福島県派遣
H26 広報課	H31 人事課
H28 清流の国づくり政策課	R 4 地域振興課
H29 競技スポーツ課	R 7 秘書課

佐藤主査も出演!!

【公式】
岐阜県 広報
岐阜県広報
Instagram

配属・研修制度の紹介

配属・異動 本人の適性、希望（勤務地等）などが考慮された配属がなされ、2~3年毎に異動するケースが多くなっています。

研修制度 新規採用職員研修では、県職員としての責務や役割、基本的な知識等を学ぶとともに、採用後1年間はOJTトレーナーが付き、実際の仕事を通じて知識・能力等を習得します。採用2年目以降も、定期的な必須研修のほか数多くの選択研修を設けるなど、人材育成の一環として充実した研修体系を備え、長期的な展望をもって能力開発を行っています。

派遣 【県以外の団体等への派遣実績】
内閣府・総務省・財務省・外務省（マレーシア等）、経済産業省、政策研究大学院大学 等

—イマの仕事と私のプライベート

農業協同組合の会計検査を通して地域農業の健全性を支え、それが県の農業振興につながる今の仕事にやりがいを感じています。現在の職場は、係員全員が同じ業務を行い、先輩職員が先輩職員の仕事ぶりを間近で見ることができるので、自己成長や今後のキャリア形成がイメージしやすく、育児休業などで職員が長期不在となっても業務をカバーできる体制が整っています。私は1時間単位で取得できる年次休暇を使いながら、メリハリをつけて働いています。休暇を安心して取得できるので、今回は夏季休暇と年次休暇を活用して3泊4日の尾瀬ヶ原散策や2泊3日の九州食べ歩きツアーをしました。令和8年度からは、夏季休暇が6日取れるので、高校・大学時代の友人と長期旅行の計画を立てたいと思います。

仕事終わりには同僚とソフトバレーやバドミントンでリフレッシュして、充実した日々を過ごしています。

—イマの仕事と私の子育て

半年間の育児休業中は毎日、24時間、娘と過ごし、表情や仕草など日々の小さな成長を間近で感じられる貴重な時間でした。育児の大変さも身に沁みましたが、それ以上に家族との絆が深まりました。

現在、我が家は共働きで、娘を保育園に預けています。男性も育児を担うのが当たり前の時代ですので、職場には家庭の状況をこまめに共有することを心掛けています。妻とも仕事のスケジュールを共有し、保育園行事や子どもの発熱といった急な保育園のお迎えにも、家族看護休暇を取得しながらスムーズに対応できています。

令和7年度からは誰もが利用できる時差出勤制度が導入され、職場全体で多様な働き方を後押ししてくれています。

家庭とキャリアの両立ができる環境が整っていると感じます。

岐阜県のワークスタイルをチェック!

管理職職員に占める女性職員の割合 (R7.4.1時点) 24%	《男女別》育児休業取得率 (R6年度) [女性] 100% [男性] 94.4%	年次休暇&夏季休暇合計の平均取得日数 (R6年) 17.6日	時差出勤制度 誰でも利用可能 (例) 7時30分始業 16時15分退庁
---	---	---	--

主な休暇制度等の紹介

ライフイベント	結婚休暇 連続する7日を超えない範囲内	産前・産後休暇 出産予定日以前8週間及び出産後8週間以内	配偶者の出産休暇 出産後2週間までの期間で2日以内	育児休業 子が満3歳に達する日までの間、原則2回目まで	育児部分休業 就学前の子の場合、1日2時間を超えない範囲で30分単位または1年につき77時間30分を超えない範囲で1時間単位	介護休暇 父母などが介護を必要とする期間内で必要な期間（通算6ヶ月を超えない範囲内）
その他の休暇	年次休暇（原則年間20日 最大20日分を翌年へ繰越可能）※4月採用者は15日付与	夏季休暇 6日付与	家族看護休暇	ボランティア休暇	修学部分休業	1時間単位での取得が可能!
福利厚生	人間ドック助成	健康相談等	クラブ活動助成	会員制リゾートホテル	スポーツ施設利用助成	テーマパーク利用助成

※地方職員共済組合・県職員互助会の制度